

1. はじめに

この度は、車速ロックキットをご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

また、製品は全数検査して出荷しています。お問い合わせいただく前に必ず裏面の配線検査手順を行い、配線に問題がないことを確認してください。

2. 製品構成

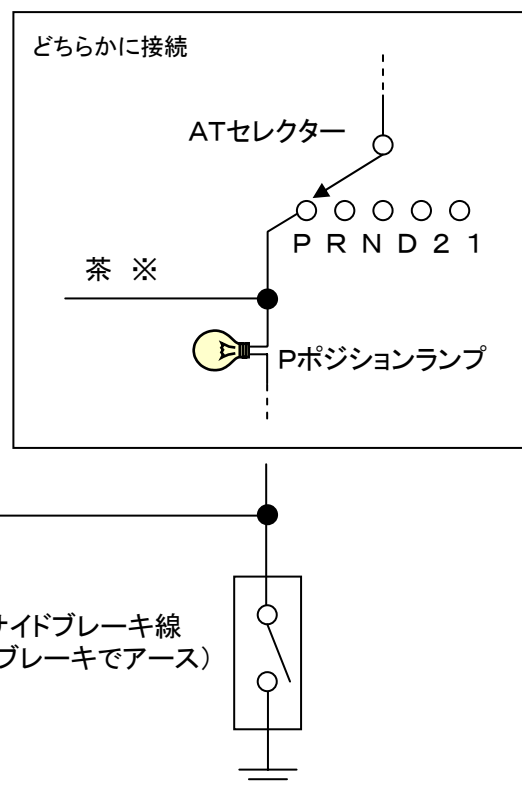
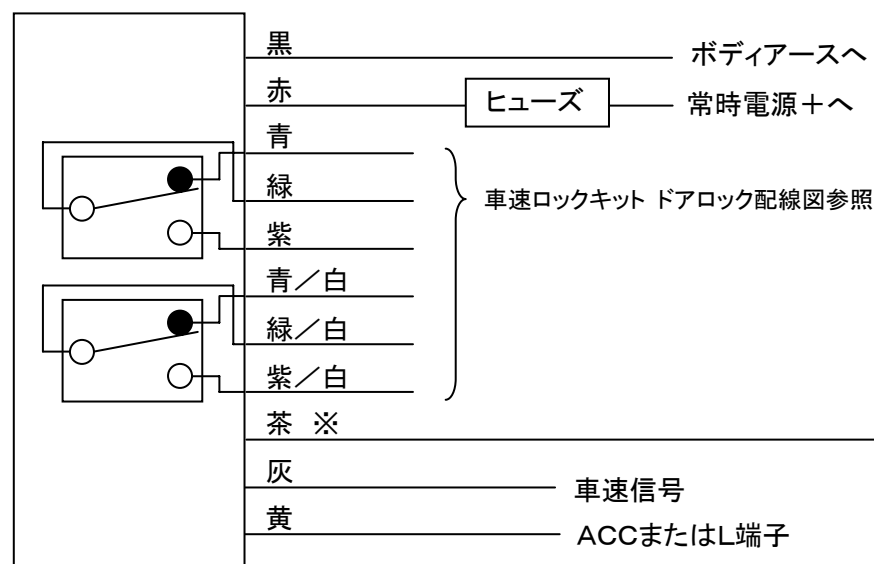
- ・コントローラ(緑1) 1個
- ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット
- ・ダイオード 2本

3. 配線方法

ケーブル線色	説明と主な接続先
① 黒	ボディアースへ接続。
② 赤	常時電源の+へ接続。
③ 青	車速ロックドアロック配線図を参照して配線してください。
④ 緑	
⑤ 紫	
⑥ 青/白	
⑦ 緑/白	
⑧ 紫/白	サイドブレーキ線(-)またはATのPポジションランプ(+)へ接続。接続すると、サイドブレーキを引いた時、またはシフトをPの位置にするとアンロックします。Pポジションランプへ接続する場合は、必ずJP3を外してください。
⑨ 茶 ※	
⑩ 灰	車速信号線へ接続。
⑪ 黄	ACC・IG またはL端子(エンジン始動中 12V)へ接続。

・※は接続しなくても動作します。

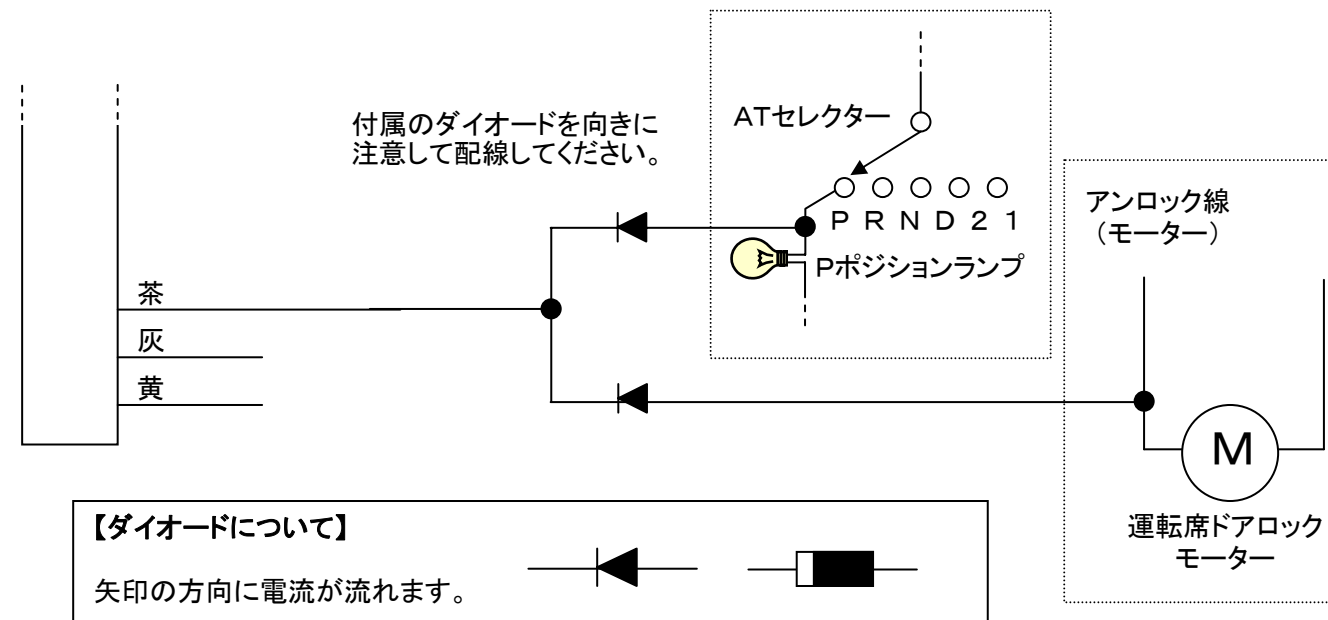
・接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。



運転席でアンロック後、再度車速ロックさせる配線方法

⑨茶線をアンロック線(アンロック時+出力、運転席ドアロックモーターの片側)に接続してください。

- ・再ロック機能とPポジションランプ(+)を同時使用の場合は、それぞれの配線にダイオードが必要になります。
- ・サイドブレーキ(-)に接続される場合や、Pポジションがマイナスの車両は、再ロック機能は使用できません。
- ・配線タイプがB・Cタイプの場合は、茶線にダイオードを入れて④緑線に接続してください。
配線タイプがA・Dタイプの場合、⑩茶線を④緑線に接続してもうまく動作しません。



【ダイオードについて】

矢印の方向に電流が流れます。

4. 設定方法

- 設定の変更は、カプラーからコントローラを抜いて行ってください。
- コントローラのカバーを開けていただくと、「JP1」「JP2」「JP3」と書かれた位置に樹脂がささっています。(下図参照)

ロックする速度の設定

JP1・JP2を付ける(-)か外す(○)かによって、ロックする速度の設定ができます。

ロック速度	遅い(初期設定)	やや遅い	やや速い	速い
JP1	-	○	-	○
JP2	-	-	○	○

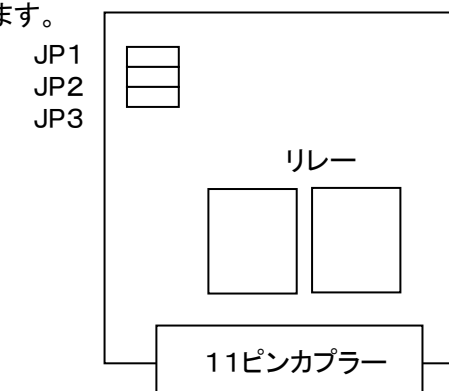
車種によってロック速度は変わります。まず初期設定で配線や動作の検査を行ってください。その後、変更される場合は、徐々にロック速度を速くしてください。

茶線の接続先(入力)設定

JP3を付ける(-)か外す(○)かによって、茶線の接続先(入力)の設定ができます。

茶線の接続先	サイドブレーキ (-)	Pポジションランプ(+)
JP3	-	○

Pポジションが、マイナスの車両もあります。その場合は、JP3を付けて使用してください。



5. 配線検査方法

まず、別紙のドアロック配線検査手順を行ってください。

	手 順	正 常	異 常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	アンロックする。 5へ。	アンロックしない。	ドアロック配線検査手順を行う。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	黒線(アース)、赤線の結線不良。
2	車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 5へ。	ロックしない。	3へ。
3	黄線を赤線に接続して車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 5へ。	ロックしない。	正常時：黄線の結線不良。異常時： 4へ。
4	黄線を赤線に接続している状態で、灰線を車から外し、ボディアースに断続的に接続する。 (1秒間に3回以上、接続させたり、離したりする。)	ロックする。 5へ。	ロックしない。	正常時：灰線の結線不良。 異常時：ジャンパーの設定を確認する。 (配線検査は必ずロック速度を「遅い」の設定にして行ってください。)
5	シフトをPの位置にする。(サイドブレーキを引く) (茶線を接続している場合)	アンロックする。	アンロックしない。	茶線の結線不良、もしくはJP3の設定が正しくない。
6	エンジンを切る。	アンロックする。	アンロックしない。	黄線の結線不良。

車速ロックキット ドアロック配線方法

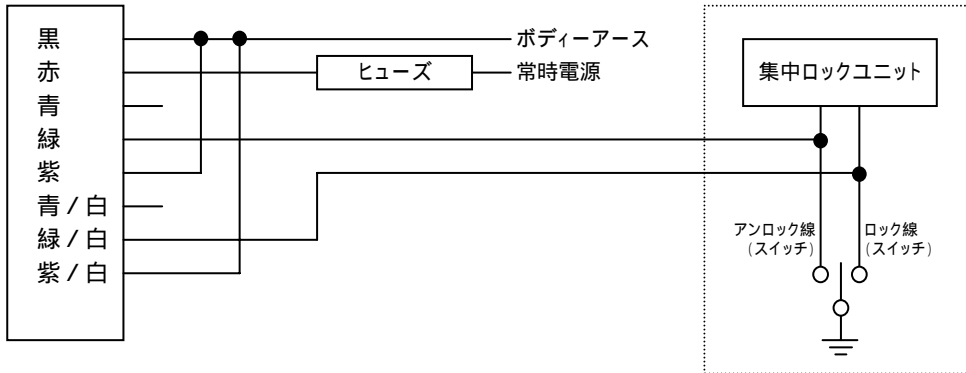
	線色	説明
1	黒	ボディアースへ接続。
2	赤	常時電源へ接続。
3	青	アンロックリレーのNC出力。
4	緑	アンロックリレーのCOM出力。
5	紫	アンロックリレーのNO出力。
6	青 / 白	ロックリレーのNC出力。
7	緑 / 白	ロックリレーのCOM出力。
8	紫 / 白	ロックリレーのNO出力。

必ず当社資料と実車で、配線タイプを確認してください。

配線終了後は裏面の検査を行い、配線に問題がないことを確認してください。

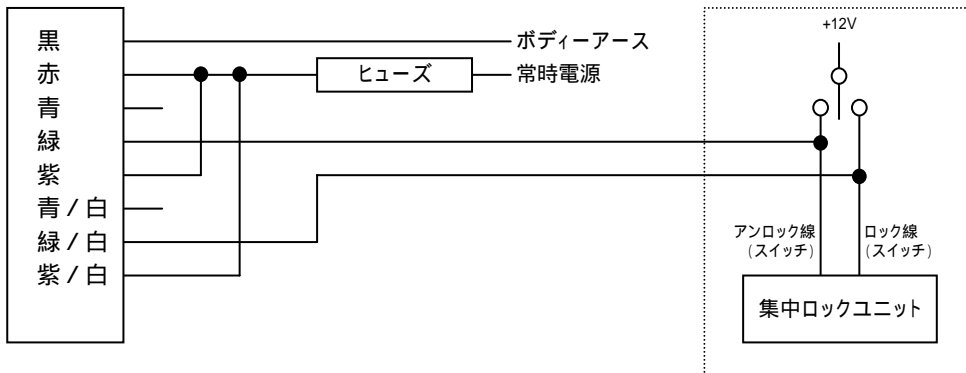
Aタイプ(例:ほとんどのトヨタ車)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種



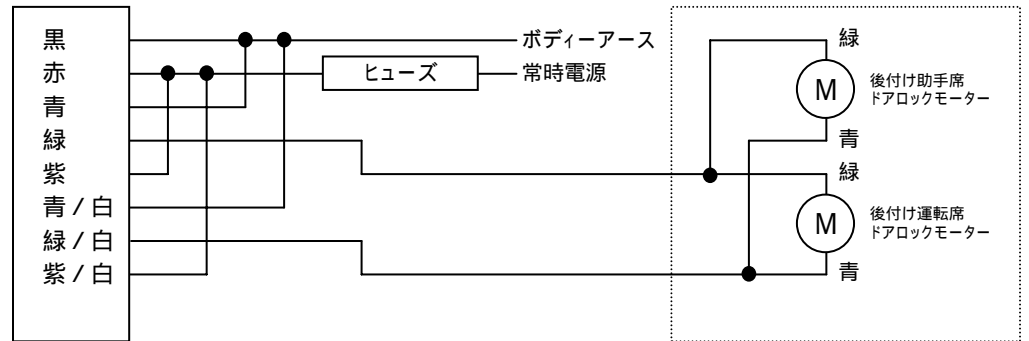
Dタイプ(例:BMW E32・E34・E36・E38・E39等、GOLF3やアメ車の一部)等)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



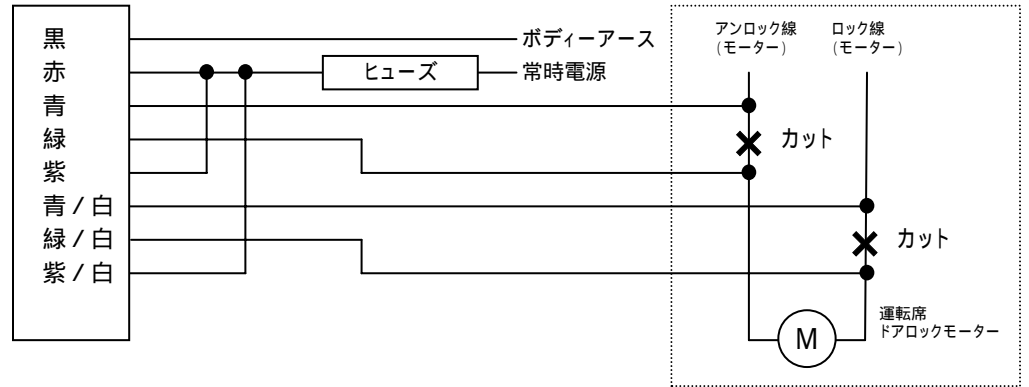
Bタイプ(例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いていない車)

ドアロックモーターが付いていない車種



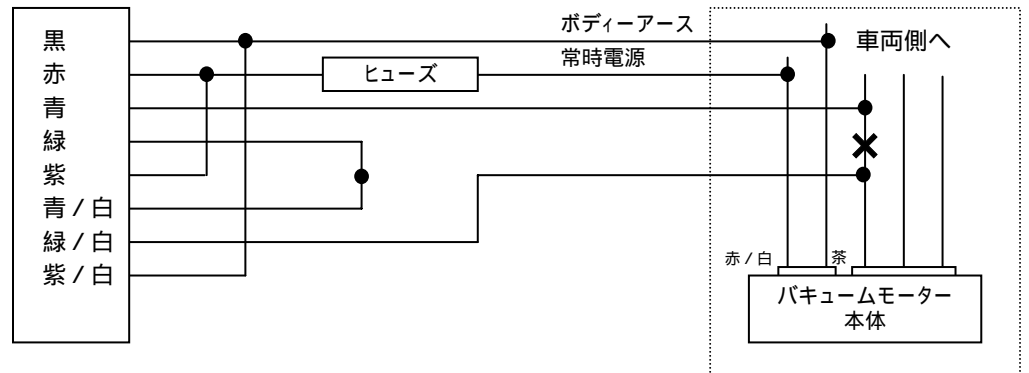
Cタイプ(例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いている車)

全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種



ベンツタイプ(例:W124・W126・W201・R129・R107後期等)

ドアロックをバキュームモーターで行う車種



車速ロックキット ドアロック配線検査手順

必ず1番から4番の検査を飛ばさずに行ってください。
 手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。
 検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査のときは必ず軍手等を使用して下さい。
 Bタイプ・Cタイプの検査では、検査ピンが接触しないようにしてください。

Aタイプ

	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑 / 白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑 / 白または黒線の結線不良。
2	緑と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良。
3	緑 / 白と紫 / 白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫 / 白線の結線不良。
4	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良。

Dタイプ

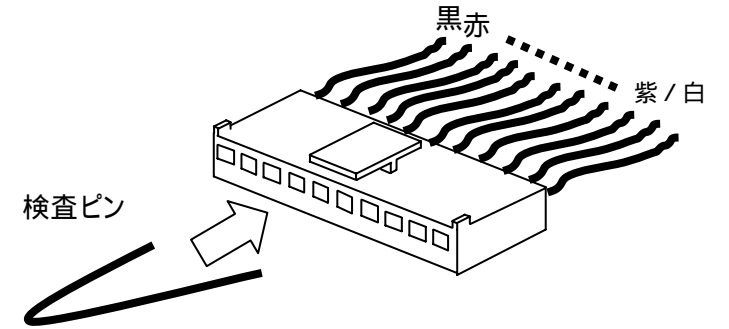
	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑 / 白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑 / 白または赤線の結線不良。
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良。
3	緑 / 白と紫 / 白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫 / 白線の結線不良。
4	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良。

Bタイプ・Cタイプ

	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑 / 白と赤の穴に別の検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑、黒、緑 / 白または赤線の結線不良。
2	緑 / 白と青 / 白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑と赤の穴に別の検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	青 / 白または緑線の結線不良。
3	緑と青の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑 / 白と紫 / 白の穴に別の検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	青または紫 / 白線の結線不良。
4	緑 / 白と青 / 白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良。

ベンツタイプ

	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑 / 白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑 / 白または黒線の結線不良。
2	緑 / 白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	赤線の結線不良。
3	緑 / 白と紫 / 白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫 / 白線の結線不良。
4	緑 / 白と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良。



検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本または2本ご用意いただき、
 伸ばしてV字に曲げて製作してください。

キーレスと同時に取り付ける際の注意事項 (Cタイプ)

必ず直列に接続してください。
 並列に接続するとショートします。

